

マンガでわかる とりふじの歴史

働く幸せを実現するぞ！



第1章

鳥藤創業

鶏肉販売をしていた藤田勝夫は、商店街のお祭り「えびす講市」で鶏ガララーメンを出店したことをキッカに、「鳥藤食堂」を開店します。



第2章

新店舗開業と イチエフからの依頼

新店舗の「とりふじ食堂」が大盛況の中、
イチエフ建設事務所の食堂運営の話もらい...



第三章

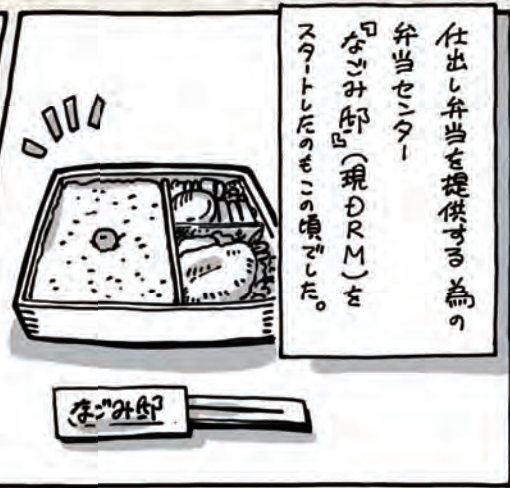
法人化と挑戦

とりふじ食堂を継続しながら、新メニューや新事業にも挑戦していきます。その根底には「工夫」「感動」「挑戦」の想いがありました。





勝夫の力の源でした。



第4章

世代交代と学び

鳥藤にも世代交代の時が訪れます。新たに就任した二人は「幸せ社員づくり」をモットーに社風改善に取り組みました。



29歳で専務に就任し、経営に携っていきました。

現場経験を経て、



25歳の時、鳥藤に入社します。

秀人がカナダ留学から帰国。トモととも（現・モールの開設や、経営業務を経験して、）



26歳でイキエ社員食堂の店長に就任しました。

社員食堂、仕入れ部、弁当センターを経て、



記あ、こ、呼ばれられ、1990年に入社しました。



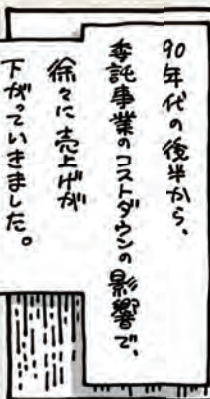
やめます!!

大は大手給食会社に就職しましたが、その晩夏には自主退職

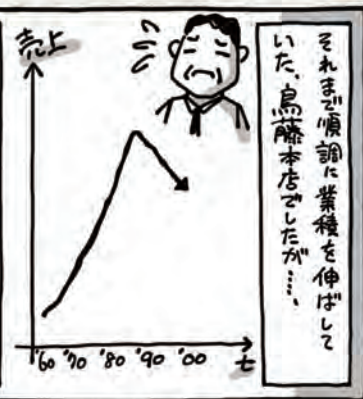


社長 + 専務 + キン + キン + 世代交代です。

そんな厳しい折に、兄秀人が社長に、弟大が専務に就任します。



90年代の後半から、専託事業のコンプライアンスの影響で、徐々に売上は下がりてきました。





第5章

東日本大震災と原発事故

世代交代後の経営難を乗り越えた鳥藤に、東日本大震災と原発事故と言う新たな試練が課せられます。震災当時～直後を振り返ります。



学心の時期を経て、業績も回復。借金も完済しました。そして、社内にも一体感が感じられるようになった。



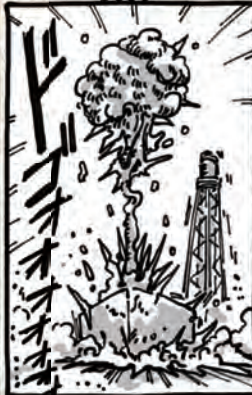
一年かかしの計画による、新社屋の地鎮祭を行なった。2011年3月9日の2日後……

3月11日

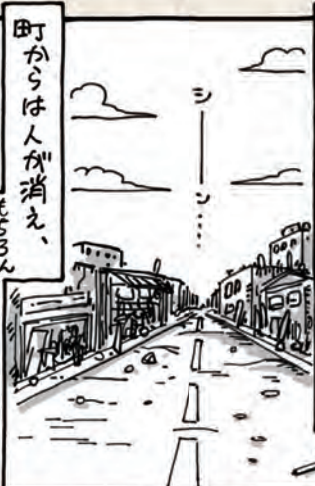
東日本大震災発生。



翌、3月12日、東京電力福島第一原子力発電所。号機が水素爆発……



2011年3月11日時点での
鳥藤本店における社員・パートの
合計115名は全員が避難を
余儀なくされました。



町からは人が消え、
仕事もゼロになりました...

まだ原稿の状況が
読めない、3月27日。

あた



スタッフの安否を確認する為、
事務の大は富岡事務所へ
緊急時連絡先を取りに行きます。

その帰りに揃った、
避難所での炊き出しが
震災後初の仕事でした。



スタッフの安否も
確認できました。

炊き出し前日の4月5日。
大はいわき市の薄磯地区を
訪れる機会がありました。



そこには、津波で破壊されてしまった、
無惨な街の姿がありました。

命がただだけ。。。
感謝だ...

この震災が
あなたのおかげで
自分の人生は豊かだ
...と言え死ぬるように
生きよう!!!

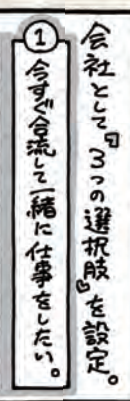
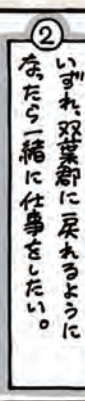
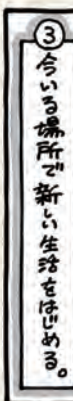
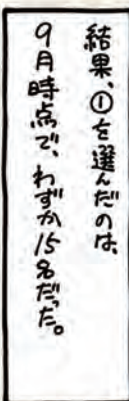
大は折言いました。



第6章

震災後の奔走～現在

震災と原発事故を乗り越えるため、新天地での事業を再開した鳥藤。様々な取り組みと共に、震災前以上の躍進を続けていきます。



2015年

には、日本ゼネラルフードとの
共同事業により、
「福島復興給食センター」が
稼働しました。

2016年



2017年

3月：ロソン新事務
本館店、開店。

11月：さくらモールと外お
か「浜鶴」開店。

8月：新大熊、単身寮
A工場の管理、食堂運営
B工場の食堂運営を
受託しました。

3月：大型休憩所にロソン開店。
4月：浜通り電力所の社食再開。
7月：ロソン富岡小浜店オープン。

2017年。震災と原発事故から6年。
富岡町の避難指示が解除されました。



2018年

1月：浜鶴リニューアルオープン。
7月：浜鶴ラーメンお土産販売開始。



2019年

7月：ロソン富岡上手岡店オープン。
10月：ロソンビジネスアスターズ
オープン。
12月：㈱浜鶴設立。

そして、2019年には、
藤田大が社長に就任。



事業は更に加速していきます。

同年7月に、JR東日本おみやげ
グランプリで銀賞を受賞した
浜鶴ラーメンは、



父・勝夫が初期の食堂で
提供していた味を
再現したものでした。

初代のモットーである、
工夫 挑戦 感動を

大切に、邁進していきます。

今後とも

どうぞよろしくお願いいたします。

